

偶然

2024. 1. 18

奥会津の小学校にいたときのことである。同じ町の中学校にS教頭先生がいた。いつも明るくバイタリティあふれる方だった。その一方で、礼儀正しく細かな気遣いのできる人だった。小学校にきてもらい、理科の授業をしていただいたこともあった。

その方が異動となり、町を離れていった。その後、私が出張で出かけると、その方とお会いすることがあった。相変わらず、礼儀正しい方だった。時は移り、私が事務局を担当する会で、再びS先生に、今度はS校長先生として、なおかつ支部長として、お世話になることになった。

昨年度、会津の地で、各教科の授業公開を行った。まだ、コロナの心配が残り、リモートで授業を配信し、協議もリモートで行うこととなった。やってみるとわかるが、対面よりもリモートの方が準備は大変である。その会津地区実行委員会の事務局長が、S校長だった。一番、仕事量があり、一番、各方面に気を使うポジションである。その難しい舵取りを一手に引き受けてくれた。会津大会が成功裏に終わったのは、S校長のお陰である。

昨年、白河の方まで出かける機会があった。どうせならと、以前から行ってみたいと思っていたラーメン店を目指すことにした。いい具合に、開店15分前くらいに到着した。早速、名前を書いた。これで、一安心である。確実に食べることができる。椅子に座って店が開くのを待っていると、遠くから見たことがあるような人物が近づいてくる。S校長に似ている。まさか、こんなところで会うことはないだろう。どんどん近づいてくる。やっぱりS校長だった。

S校長のラーメン好きはレベルが違う。専門は、喜多方ラーメンだが、白河ラーメンも研究した上で、この店に来たのだろう。偶然にしては、出来すぎである。福島の間と喜多方の間とが、白河のとあるお店で会うのである。それも、30分ずれていたら会うことはなかっただろう。めでたく一緒に白河ラーメンを堪能することとなった。レジのところで、彼が店員さんに何やら質問していた。店員さんは答えることができず、ご主人が出てきた。どうやらスープの隠し味レベルの質問だったらしい。ご主人もうれしそうだった。恐るべしである。彼のラーメンに関する知識はすごい。一つ一つのお店について、かなり詳しい。

出張で、いわきに向かった。磐越道のパーキングエリアで休憩をした。車に戻ろうとすると、目の前にS校長が現れた。偶然だろうか。5分ずれていたら、ここで会うことはなかっただろう。今度は、出張で喜多方に行った。その日は、13時にS校長と合流する予定だった。私が知っているラーメン店に入った。背後に気配を感じた。S校長だった。同じお店を選んだらしい。ここまで来ると、偶然ではないのは確かである。では、必然なのか。そうでもないだろう。では何なのか。

それまでも、陸上の県大会など、県内から校長先生方が集まる場では、必ずS校長と顔を合わせていた。思い返すと、奥会津の町で出会ったことも偶然ではなかっただろう。縁という言葉では片づけられない何かを感じる。今度は、どこのラーメン店で会えるのかと思うと、楽しみである。